1月の園だより

H28. 1. 4

ふたばランド

ふたばランド保育園　　牛久市中央5－5－2　tel.029-873-5528 ip phone.050-3428-9254

「あのね、ほんもののサンタさんがきたんだよ！」

「○○くんはね、サンタさんとあくしゅしたの！」

「おにわにね、サンタさんのあしあとがあるんだよ！」

「トナカイのあしあとと、ソリのあともあるんだから！」

『世界中のみんながしあわせになりますように！』とキャンドルに灯をともして願いながら、みんなで楽しんだクリスマス会を終えた後、いささか上気した子どもたちが次から次にやってきて、異口同音にこんなことを言って聞かせてくれました。

いずれにしても、子どもたちは、それぞれに心が大きく揺さぶられる瞬間を持つことができたんだろうなぁと、思わずほくそ笑むことができたあたたかな年の瀬でした。

さて、平成二十八年が幕を開けました。

今年も、皆様にとって、健体康心な一年となりますように。

そして、今年も、子どもたちの育ちにとって大切なことを第一に考えながら、「ふたばランド」らしい、「ふたばランド」ならではの保育活動が展開していけるよう、みんなで心と力を合わせていきたいと思っています。

子どもたちの将来につながる今を大切にしながら、今年も一緒に子育てを楽しみましょうね！

今月の予定

交通安全教室

1/12（火）

● 今月は、チャイルドシートやシートベルトの重要性についてのお話を通して、子どもたちの意識を刺激していただきます。
如何でしょう。チャイルドシートの使用やシートベルト着用への意識づけは、常日頃から大丈夫でしょうか。
大人の意識が大切です！

もちつき

1/13（水）

● せいろでもち米をふかし、杵と臼を使っての「おもちつき」です！！　お天気になりますように！
2歳児の子どもたちに加え、にじぐみ、ひかりぐみの0，1歳児もミニ杵とミニ臼を使って、ぺったん、ぺったんと「おもちつき」に挑戦しますよ。

※ 当日、子どもたちと一緒におもちをついてくださる方、おもちの配膳等をお手伝いしたくださる方を募集しています！

この機会に、是非一緒に楽しみましょう！

■ 準備等の都合もありますので、ご参加いただける方は、必ず前日までに各クラス担任までお知らせください。

カレーライスの日

1/20（水）

● 「自由な遊び」とはまた一味違った「制約や制限の多い活動」の中、それぞれが責任を持って活動することを通して、有能感や自己充実感が膨らむと共に、意欲の育ちにつながることを願っています。

誕生会

1/27（水）

● 今年度の誕生会もあと3回。今回は、1月生まれのお友だちをみんなでお祝いしましょう！
自分のときにそうしてもらったように、あるいは、来たるべき自分の誕生会にそうしてもらいたいように、しっかりと！

★ 1月は、「おべんとうデー」がありません！

お知らせ・お願い

★ 特に18時前の駐車場利用は、どうしても順番待ちになってしまうことがしばしばです。この時間辺りでのお迎えの際には、園内に留まることなく、お子さんの引き渡し後すぐに降園していただくようご協力ください。
延長保育でお預かりしている子どもたちが、スムーズに延長保育へ移行できない場合もあるようです。
自分のことだけにならずに、他人の様子にも気を配ることは、社会生活においてとても大切な意識ではないかと思います。
何卒、ご理解・ご協力をお願いします。

※ 放送でのその都度の呼びかけに対して、毎度速やかに対応していただいているみなさん、本当に有難うございます！

★ ランランフェスティバル

2月27日（土）10：00～11：30（予定）

■ 今年も、当日の出演は、子どもたちのことを考慮して2歳児以上とさせていただきます。また、この日の土曜保育はおこないませんので、あらかじめご承知おきください。
詳しいことにつきましては、後日お知らせを配布致します。

★ 保育参観＆給食試食会

■ 3月8日（火）～11日（金）を予定しています。
各クラスごとの詳しい日程につきましては、後日お知らせを配布致します。

※ ぞうグループの方は、11日「カレーライスの日」を参観していただきます。

また、この日以外にも保育参観をご希望の方は、随時お気軽に声をおかけくださいね！
ご希望の日時を前もってお知らせいただければ、保育に支障のない範囲で自由に参観していただいて結構ですので。

★ 避難用として使用します19～21ｃｍの靴をご寄附ください。

■ 大きいサイズの靴がありましたら、何卒よろしくお願いします。

自分で行動して、自分で責任をとることのできる育ちにつなげるために

日常生活の中でも、大いに意識しながら子どもたちと関わる必要があるのではないかと思います。

朝、出勤途中で出会う光景です。

登校している小学生の子どもたちが、押しボタン式信号機のある横断歩道にさしかかると…、

ボランティアの方でしょうか。子どもたちの見守りをしてくださっている使命感に燃えた好感の老紳士が、子どもたちよりも先にボタンを押して、子どもたちの安全をしっかりと確保してくださり…、子どもたちはと言えば、ボタンを押してもらったうえに、誘導までしてもらい…、自分で安全を確認しながら自分で判断して行動を起こすといった瞬間もなく…。

この様子を目にする度に、本当にこれでいいのかなぁ…ウ～ン…？と考え込んでしまう自分がいるのですが、如何なものでしょうか。

「見守る」中で大切なこと、それは、大人が安易に手出し口出しをせずに我慢をしながら、実際に子ども自身に実体験させ、足りないところに気づかせたり補ったりしてあげることではないかと思うのです。子どもが考えたり、気づいたり、判断したりする瞬間を、そして、自分の言動に対してしっかりと責任をとる瞬間を大切にしてあげたいものです。

我慢強く、忍耐強く、子どもたちの気づきと意識の育ちに向き合ってくれているふたばランドの先生たちに感謝です。

必要な声掛けか、必要のない声掛けか。必要な援助か、必要のない援助か。必要な待ちか、必要のない待ちか…。

しっかりと見極めることが大切ですね。

色々なことを自分で考えて、自分で判断して、自分で責任をとることのできる育ちにつなげるためには。

日常生活の中でも、大いに意識しながら子どもたちと関わる必要があるのではないかと思います。

朝、出勤途中で出会う光景です。

登校している小学生の子どもたちが、押しボタン式信号機のある横断歩道にさしかかると…、

ボランティアの方でしょうか。子どもたちの見守りをしてくださっている使命感に燃えた好感の老紳士が、子どもたちよりも先にボタンを押して、子どもたちの安全をしっかりと確保してくださり…、子どもたちはと言えば、ボタンを押してもらったうえに、誘導までしてもらい…、自分で安全を確認しながら自分で判断して行動を起こすといった瞬間もなく…。

この様子を目にする度に、本当にこれでいいのかなぁ…ウ～ン…？と考え込んでしまう自分がいるのですが、如何なものでしょうか。

「見守る」中で大切なこと、それは、大人が安易に手出し口出しをせずに我慢をしながら、実際に子ども自身に実体験させ、足りないところに気づかせたり補ったりしてあげることではないかと思うのです。子どもが考えたり、気づいたり、判断したりする瞬間を、そして、自分の言動に対してしっかりと責任をとる瞬間を大切にしてあげたいものです。

我慢強く、忍耐強く、子どもたちの気づきと意識の育ちに向き合ってくれているふたばランドの先生たちに感謝です。